

小堀遠州

美の出会い展

大名茶人・遠州400年

玉くまうさみ乃浦乃い
たのしみよる
ね乃いよる

松屋銀

小堀遠州 狩野探幽 両筆 松原の絵黄

松屋銀座8階大催場

12月30日(日) — 1月14日(祝・月)

【開場時間】午前10時—午後8時(入場は閉場の30分前まで)
※開場時間の詳細は裏面に。

【主催】朝日新聞社

【後援】財団法人小堀遠州顕彰会

【協力】茶道遠州会/株式会社はせがわ

【監修】遠州茶道宗家13世家元 不傳庵 小堀宗実

【入場料】一般1,000円・高大生700円・中学生以下無料

一般前売券700円・高大生前売券400円

(チケットぴあにて発売 Pコード6871618)



高取 円座瓢箪 茶入



御本立鶴茶碗 銘・池水 北村美術館蔵

MATSUYA GINZA

小堀遠州「美の出会い」展



遠州好 寄木 水指櫛

小堀遠州は茶道を通じて、後水尾天皇をはじめとする皇族や公家、徳川家光、伊達政宗、前田利常などの大名、池坊二代専好や本阿弥光悦などの文化人と幅広く交流します。一方、寺社や城郭の造営や庭園を手がけるなど多方面に優れた才能を発揮し、総合芸術家・遠州は寛永文化のデザイン感覚をリードする一流の文化人として知られています。

2008年は遠州が徳川家康により遠江守に任ぜられてから400年となります。これを記念し、本展では遠州との美の出会いをテーマに、将軍家から皇室までゆかりの優品150点を一堂に展観。

また特別展示として愛知万博「愛・地球博」に出品された13世家元 小堀宗実氏設計のプラチナの茶室

「利庵」をご紹介します。



小堀遠州像(部分) 春屋宗園賛 孤蓮庵蔵

◆遠州好み—多彩なデザイン

師匠の織部とは対照的に、遠州の茶は「綺麗さび」と言われ、均整のとれた、美しく見栄えのする茶碗を好みました。遠州が特に好んだ名品を展観し、「遠州好み」のデザインを紹介いたします。



高麗「夢の字」茶碗



祥瑞 蜜柑 水指 根津美術館蔵

◆美の出会い

10歳で利休に会い、15歳で織部に執事した遠州は、茶道を通じて多くの出会いを経験しました。時の権力者や文化人、僧侶たちとの出会いや交流の様子を書いた文、茶道具などを通して紹介いたします。



古田織部作 共筒茶杓



大名物 油滴天目茶碗 添 芙蓉台 北村美術館蔵

◆遠州の眼—中興名物

遠州は美術工芸の面でも才能を発揮し、数多くの名品を世に送り出しました。中興名物として世に広められた遠州の確かな審美眼をご覧ください。



中興名物 膳所 耳付茶入 銘・大江 根津美術館蔵



中興名物 高麗茶碗 銘・古手屋 三井記念美術館蔵



大徳寺孤蓮庵

【略歴】

- 一五七九年 近江国で、浅井長政に仕える小堀新介正次の長子として生まれる。
- 一五八八年(10歳) 大和納言秀長へ太閤秀吉御成時の小姓として給仕、利休に初めて会う。
- 一五九三年(15歳) 古田織部に茶道を習うとともに、大徳寺春屋宗園禪師に参禅。
- 一六〇四年(26歳) 家督をつぎ徳川家康に仕え備前松山城を預かる。
- 一六〇八年(30歳) 徳川家康の居城、駿府城作事の功により諸大夫従五位下遠江守に叙せられ、「遠州」と呼ばれる。
- 一六四二年(64歳) 將軍の茶道師範となる。
- 一六四七年(69歳) 二月六日、没。伏見奉行在籍25年。

銀座「和のおしゃれ」展

1月9日(水)ー14日(祝・月)8階大催場 最終日5時閉場 入場無料

「大人の和のおしゃれ」をテーマに、創造的かつ個性的な和雑貨や本物の技で創られる職人仕事の数々を全国から集め展示販売いたします。また、アンティークきものやリサイクルきもの特集も併せて開催いたします。

開場時間＝午前10時ー午後8時(入場は閉場の30分前まで)

31日①午後6時、1月2日②午後7時、1月4日③、5日④は午後9時閉場。1月1日⑤⑥は休業

松屋銀座＝〒104-8130 東京都中央区銀座3-6-1 電話03(3567)1211大代表 www.matsuya.com

●割引券

小堀遠州「美の出会い」展

本券で2名様1回限り、会期中につき100円割引料金にてご入場いただけます。